

意識のない状態や負傷により動けない状態で吊り下げられた場合、短い時間でも生理的に深刻な影響を受けます。事故が起きた時は、素早く適切な方法で対処することが重要です。

セルフレスキュー

主な避難経路が炎によって断たれる可能性がある場合、建物から迅速に避難するための手段が用意されていなければなりません。それには避難用のキットが必要になります。それらのキットは、各個人が携行する場合と、緊急時に備えて建物に常備される場合があります。下降用の支点の有無が予め確認されていない際には、窓枠などの利用が可能なフックをもつタイプが使用されます。実際に必要となった際にスムーズに使用できるよう、定期的な訓練が必要です。

オンサイトレスキュー

作業の準備段階で、作業に付随するリスクを特定し、リスク管理計画を立てる必要があります。

1. リスク管理計画は、作業者を高所からの墜落から保護するものでなければなりません。採用される方法は、それが共同の確保システムであって個人保護用具 (PPE) を使用するシステムであっても、作業者の安全を確保するものでなければなりません。

2. 作業管理者は、事故が発生した際に要救助者をシステムから解放して救出するための救助システムを用意しておく必要があります。

- 様々な状況に対応でき、使い方が簡単ですぐに使えるレスキューキット
- 高所作業用の個人装備: 作業チームは訓練と経験を積んでいる必要があります
- 事故発生時に素早く対応できるよう、作業チームは定期的な訓練を行う必要があります。

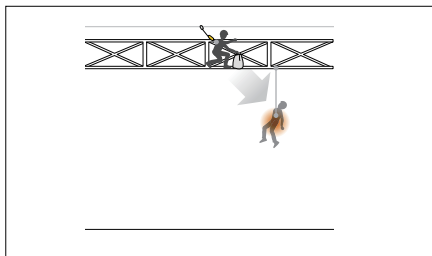
テクニカルレスキュー

テクニカルレスキューチームは、どのような状況でも迅速に対応できなければなりません。要救助者にアクセスする方法は、最も迅速かつ効果的な手段を選択する必要があります。

- アクセスが容易な場合や車輦等の移動手段が使える場合は、レスキュー用の資器材の運搬は容易です
- アクセスがより困難な場合は、ロープアクセス技術を使用した上方や下方からのアクセスが考えられます。この場合、軽量で汎用性の高い用具が使用されます
- 要救助者へのアクセスが更に困難な場合や山岳地帯のような僻地の場合は、ヘリコプターがアクセスの手段となります

スキースリフトからの救出

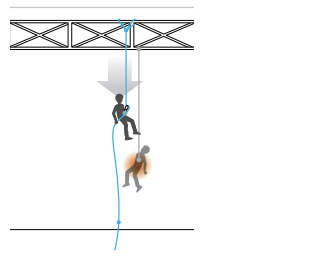
スキースリフトの乗客の救出は、あらかじめ準備された計画に沿って行います。使用するレスキューキットは、それぞれのスキー場のニーズに合わせて必要なものを揃えます。



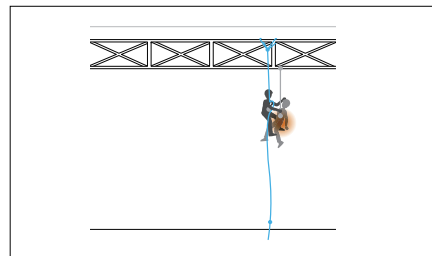
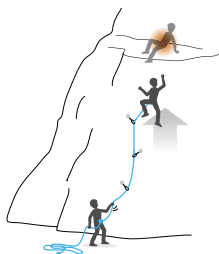
1. 要救助者へのアクセス

現場によっては、要救助者がいる地点への到達が難しい場合があります。そのような場合にはロープアクセス技術を用います。上方からのアクセスが可能な場合は、ロープで下降してアクセスします。ロープが予めセットされている場合は、ロープクランプを使用してロープ登高によりアクセスします。そのどちらの方法も可能な場合は、リードクライミング技術でアクセスしなければなりません。

上方からのアクセスの例



下方からのアクセスの例



2. 要救助者の解放

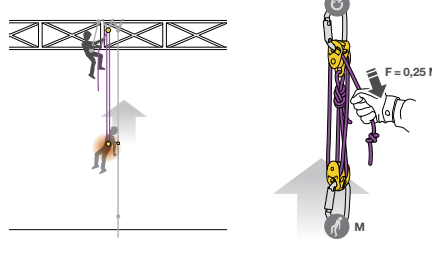
ホーリング

要救助者の引き上げを効率的に行うために、プーリーを使用した倍力システムを用います。少ない力で引き上げが行えるため、救助者が1人しかいない場合にも有効です。ただし、長いロープが必要になるという短所もあります。十分な数の救助者がいる場合は、倍力の低いシステムを組んで救出時間を短縮できます。

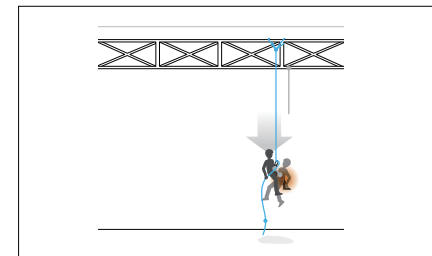
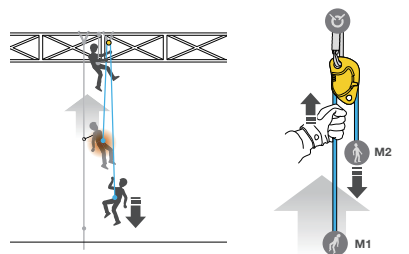
カウンターウェイト技術

カウンターウェイトを利用したシステムです。要救助者の反対側のロープに体重をかけます。要救助者側のロープを上方向に引くことにより、要救助者を引き上げます。救助者が下がる分、要救助者は引き上げられるというシステムです。このシステムの長所は、少ない装備で簡単に行うことができることです。体重をかけ、要救助者が上へ動き始めるまでが最も力を要する作業です。その後は慣性を保ち、コントロールしながら荷重を加え続けます。救助者と要救助者の体重の差が大きい場合には注意が必要です。

ホーリングの例



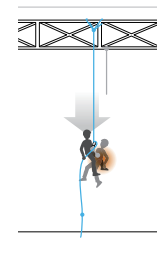
カウンターウェイトシステムの例



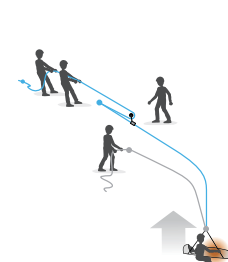
3. 要救助者の救出

下方へ救出する場合は下降器を使用します。よく使われる最も容易な方法です。下方への救出が不可能な場合は、上方あるいは水平方向へ救出します。上方へ救出する場合は、メカニカルアドバンテージシステムまたはカウンターウェイトシステムを使用します。水平方向へ救出する場合は、1本または複数のロープを横に張ります。1本のロープをガイドにし、別のロープをバックアップに、更に別のロープを担架の移動に使用します。

下方への救出



上方への救出



水平方向への救出

